

# 学科の3つのポリシー

## 看護学科

### ディプロマポリシー

建学の精神を体得し、人間愛を基盤として、豊かな人間性と倫理観及び専門的知識と技能を基盤とした看護実践を通し、広く社会に貢献しうる看護職者を育成するために、所定の課程を修め、101単位の単位修得条件を満たした上で、次のような目標を達成したものに看護専門士を授与する。

1. いのちの尊厳を基盤とした豊かな人間性、倫理観、責任感を有している。
2. 多様な価値観を認め、他者理解し、他者の意見と自己主張を調和させ、豊かな人間関係構築能力を有する。
3. 生涯にわたり継続して主体的に学び、自律的に課題を発見し解決する能力を有している。
4. 専門的な知識・技能と論理的思考力を修得し、効果的な看護実践に向けてその能力を発揮できる。
5. 看護職としての使命を自覚し、中長期的な視点を持ち、他者との協働のもと地域社会に貢献する姿勢が身についている。
6. 国際的な視野と異文化理解を基盤とし、他者とのコミュニケーション手段を身につけている。

### カリキュラムポリシー

看護学科では、建学の理念である「実学教育」「人間教育」「国際教育」に基づき、キャリア形成に努め、良き人材を育成するために、基礎分野・専門分野を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業科目を開講する。また、課外活動と正規の授業科目との関連に考慮し、体験、共同学習・演習など体験活動の機会も充実させたカリキュラムを構築し、ディプロマポリシーの達成を図る。

1. 看護職に必要な品性が身につくように、課外活動と科目を関連させ編成している。
2. 多様な価値観を認めることができるよう、3年間にわたり他学科・他校・他国の学生との交流の場が持てる科目を配当する。
3. 幅広い医療・福祉への関心を深め、生涯学習力が身につくよう、看護研究Ⅰ・Ⅱをおき、幅広い研究発表の場を設けている。また、自ら課題発見・課題解決する力を養うために、1年次よりプロジェクト学習・反転学習などアクティブラーニングを授業・実習に取り入れている。
4. 1学年からリフレクションを取り入れ、学生が自ら考え行動する契機を与え、実践能力を段階的に育成する。
5. 地域に根ざした医療・福祉に貢献するために、地域の外部講師と連携した授業科目を設定したり、PBL・協働学習の技法を取り入れ、多職種連携教育を行っている。
6. 国際的コミュニケーション能力を育成するため、外国語科目を2科目設け、かつ海外看護大学での研修の教科をおいている。

### アドミッションポリシー

看護学科の教育目的の下、ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーに示す教育を行っている。この教育に共感できる入学者を受け入れます。求める人物像を以下に示します。

1. 人と関わることに関心を持ち、基本的な礼節とコミュニケーション能力を持っている人。
2. 看護に関心を持ち、将来看護職として他者の役に立つことをめざしている人。
3. 専門的な看護に必要な知識・技術を主体的に修得できる基礎学力を持った人。
4. 謙虚に自己を振り返れる人。

## 介護福祉科 I 部(昼間 2 年制)

### ディプロマポリシー

実学教育、人間教育、国際教育の 3 つの建学の理念をもとに、これからの日本社会、国際社会に貢献できる職業人として専門的知識と技術を備え、リーダーシップや柔軟性を発揮できる能力などを培った者に卒業認定します。

1. 本校の建学の理念を理解し、主体的に学び専門職業人として福祉業界で活躍したいという強い意思を持っている。
2. これからの福祉業界に、問題提議、提案など発信するための情熱を持ちプレゼンテーション能力、リーダーシップ、コミュニケーション能力を持っている。
3. 本校で修得した介護福祉における幅広い技術をもとに、社会貢献の活動実績を作り、将来それぞれの介護業界で活躍したいという意欲を持っている。
4. 日本の福祉に留まらず国際感覚を持って、福祉業界において提案、マネジメントがしたいという意欲を持っている。
5. 他者の意見を尊重、理解し、他者のニーズに応えたいという意欲を持っている。

### カリキュラムポリシー

これからの福祉業界を担う福祉人材としての職業人教育を実践します。専門能力と豊かな人間性そして、国際感覚を持った職業人および社会人として基礎力を備えた人材育成を目指します。

1. 基礎学力から専門、応用までの専門科目を履修し、専門性を高める系統的プログラムです。
2. 介護過程や研究、ケーススタディを通して、実証的、統計的なアプローチや論理的思考ができる教育を実施します。
3. 他職種連携、特に医療分野と福祉分野の連携について学び、それぞれの専門性を理解できる連携授業を実施します。
4. 地域貢献を通して、様々なニーズに応えることができ、他者理解を深め、優れたコミュニケーション能力や協調性を育むプログラムを用意します。

### アドミッションポリシー

本科では滋慶学園のミッションに従い、3 つの建学の理念を実践したカリキュラムを構成しています。よって、これからの社会に貢献できる人材となりうる適性を持つ者を求めます。

1. これからの介護や福祉に強い関心を持ち、その分野に貢献できる能力を身につけたいと明確な意欲を持っている。
2. 協調性をもって様々な課題に積極的に取り組み、問題解決能力や創造力を持っている。
3. 周囲との円滑なコミュニケーションができ、共生する意識を持っている。

### ディプロマポリシー

滋慶学園は、「建学の理念」と「4つの信頼」に基づいて、「即戦力となる学生を育成し、社会に貢献することを最終目標」とし、特定の職業に従事するために必要な技術・知識、態度、考え方をもちた学生を社会・業界に送り出すこととしています。

卒業までに身に付けるべき資質を以下に示します。

1. 学内カリキュラム、地域活動、現場実習を通じて、社会人基礎力が培われている。
2. 産業界との連携により対人支援の専門職として人間力を、また社会人としての身構え、気構え、心構えを身に付けている。
3. ソーシャルワーカーに必要とされる知識・技術、国家資格等を取得することで身に付けている。

### カリキュラムポリシー

滋慶学園は、「建学の理念」と「4つの信頼」を実現するために、「専門職業教育」と「キャリア教育」を体系的に一体化した職業人教育のカリキュラムと、海外研修等の国際教育を通じ国際感覚を身に付けるプログラムを提供します。プログラムの柱を以下に示します。

1. 4年間それぞれのステージに合わせた、産学連携による現場実習を提供します。
2. 基礎学力の向上及び、実践で活用できる知識・技術を身につけるプログラムを提供します。
3. 海外研修を通じて、国際的なソーシャルワークの学びの場を提供します。

### アドミッションポリシー

滋慶学園の「建学の理念」と「開校の目的」に共感できる入学者を国内、国外問わず受け入れます。求める人物像を以下に示します。

1. 保健・医療・福祉の増進に寄与したいと考える人。
2. 傾聴の姿勢に立って、信頼関係を構築できる人。
3. 自己研鑽に努め、キャリア意識を備える人。

### ディプロマポリシー

滋慶学園は、「建学の理念」と「4つの信頼」に基づいて、「即戦力となる学生を育成し、社会に貢献することを最終目標」とし、特定の職業に従事するために必要な技術・知識、態度、考え方をもちた学生を社会・業界に送り出すこととしています。

卒業までに身に付けるべき資質を以下に示します。

1. 学内外の学修を通じて社会人基礎力を培い、保育者としての人間力を身につけている。
2. 保育士登録に必要な教科・実習課程をすべて修了している。
3. 身体の機能や構造、疾病、感染予防、アレルギー、障害等の医学的知識を身に付けている。
4. 他者・他人種、異年齢・異文化に対する理解を深め、自らの見解と高い視野を備えた国際感覚を身に付けている。

### カリキュラムポリシー

滋慶学園は、「建学の理念」と「4つの信頼」を実現するために、「専門職業教育」と「キャリア教育」を体系的に一体化した職業人教育のカリキュラムと、海外研修等の国際教育を通じて国際感覚を身に付けるプログラムを提供します。プログラムの柱を以下に示します。

1. 保育士を目指す学生一人ひとりの人間的成長とキャリア設計を支援します。
2. 産学連携による保育実習を重視したカリキュラムやインターンシップ等を提供します。
3. 特に保健分野の知識の修得や学力向上を図るプログラムを提供します。
4. グローバル化の中、国際人として保健分野の基礎プログラムを提供します。

### アドミッションポリシー

滋慶学園の「建学の理念」と「開講の目的」に共感できる入学者を国内、国外を問わず受け入れます。求める人物像を以下に示します。

1. 保育士になりたいという目的、目標を持ち社会に貢献したいと考える人。
2. 愛情を持って、一人ひとりの子どもの個性と感性を尊重できる人。
3. 仕事観、勤労観を備える人。
4. 自ら学ぶ姿勢と自己の課題を発見し解決するなど、キャリア意識を備える人。

## ディプロマポリシー

「3つの建学の理念」の実践、「4つの信頼」の獲得を本学園の教育の基礎とし、多様化する社会へ対応できる専門的な技術・知識・視点・精神を身につけた職業人の養成を目指す。それに基づき以下の素養と能力を身につけた学生を卒業認定する。

1. 専門職としての職業倫理観の獲得をしている。
2. 指定された全ての科目を修了している。
3. 受容と共感的態度に基づくコミュニケーション能力を有している。
4. 新しい価値観の獲得と自己覚知を進めることができる。
5. 精神保健福祉分野における現状と課題の整理ができている。

## カリキュラムポリシー

福祉分野の第一線で活躍できる職業人教育を実践する。また技術・知識・視点・精神の均整の取れた教育カリキュラムの実践を重視する。

1. 専門職として必要とされる実践能力と視点を身につけるプログラムを提供する。
2. 国家資格を取得するに必要とされる知識を獲得するプログラムを提供する。
3. 精神保健福祉士の職業倫理観を養うプログラムを提供する。
4. 職能団体と業界と連携したキャリア教育を提供する。

## アドミッションポリシー

本学園の教育理念を理解し、「キャリアアップ」や「学び直し」の意思を持つ者を求める。

1. 精神保健福祉士として地域社会に貢献する意欲のある者。
2. 他者との協力関係の中で問題解決・目的達成を目指す者。
3. 職業人として必要な技術・知識・視点・精神の獲得に意欲がある者。
4. 自己研鑽・自己覚知を怠らない者。

## ディプロマポリシー

「3つの建学の理念」の実践、「4つの信頼」の獲得を本学園の教育の基礎とし、多様化する社会へ対応できる専門的な技術・知識・視点・精神を身につけた職業人の養成を目指す。それに基づき以下の素養と能力を身につけた学生を卒業認定する。

1. 専門職としての職業倫理観の獲得をしている。
2. 指定された全ての科目を修了している。
3. 受容と共感的態度に基づくコミュニケーション能力を有している。
4. 新しい価値観の獲得と自己覚知を進めることができる。
5. 社会福祉分野における現状と課題の整理ができている。

## カリキュラムポリシー

福祉分野の第一線で活躍できる職業人教育を実践する。また技術・知識・視点・精神の均整の取れた教育カリキュラムの実践を重視する。

1. 専門職として必要とされる実践能力と視点を身につけるプログラムを提供する。
2. 国家資格を取得するに必要とされる知識を獲得するプログラムを提供する。
3. 社会福祉士の職業倫理観を養うプログラムを提供する。
4. 職能団体と業界と連携したキャリア教育を提供する。

## アドミッションポリシー

本学園の教育理念を理解し、「キャリアアップ」や「学び直し」の意思を持つ者を求める。

1. 社会福祉士として地域社会に貢献する意欲のある者。
2. 他者との協力関係の中で問題解決・目的達成を目指す者。
3. 職業人として必要な技術・知識・視点・精神の獲得に意欲がある者。
4. 自己研鑽・自己覚知を怠らない者。